



株式会社 自然教育研究センター 業務概要

自然の豊かさ、生命の尊さについて
年間120万人以上の方々と語り合えることが
私たちの誇りです

CES

Center for Environmental Studies

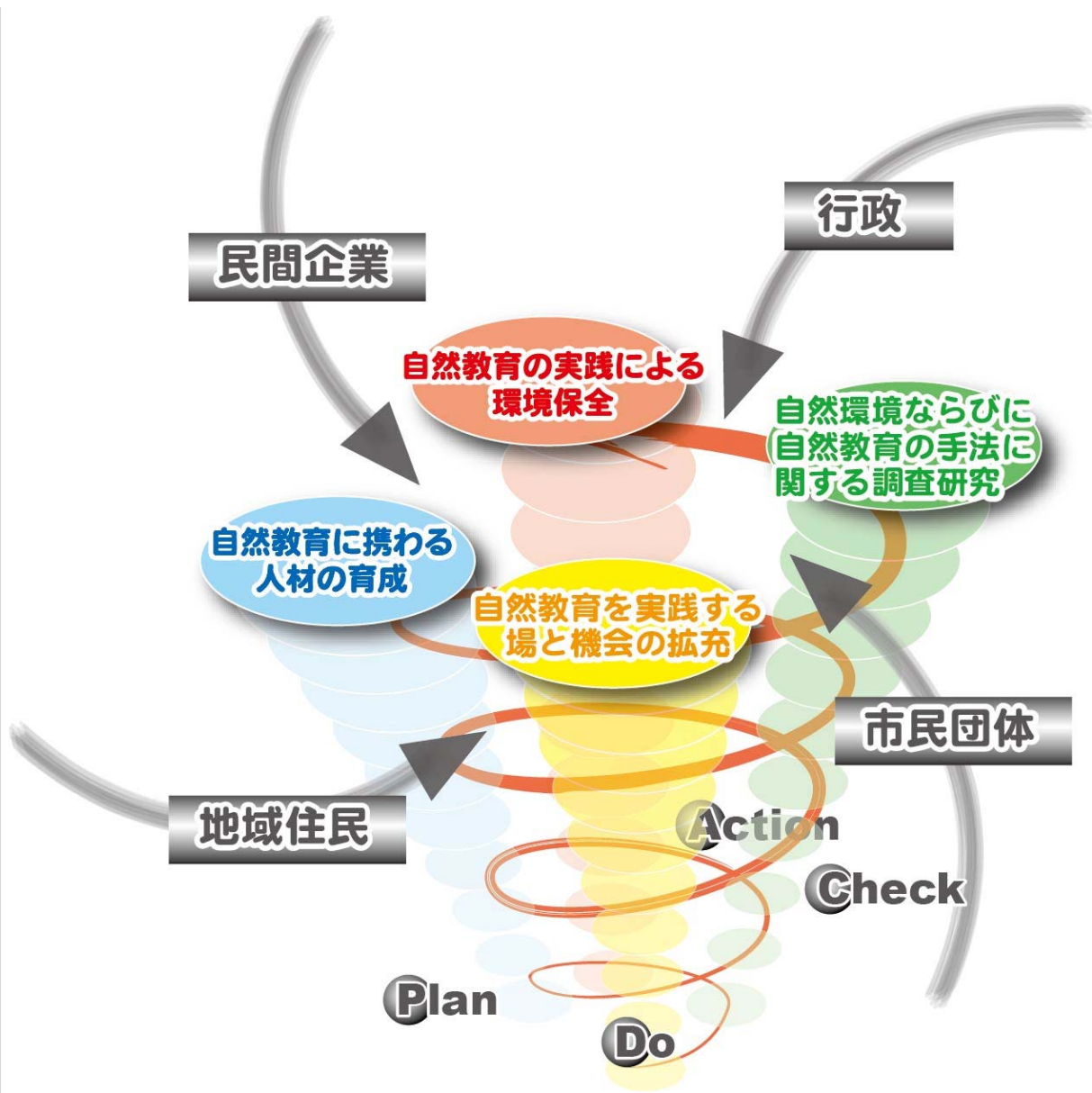
since 1990

経営方針

私たちは、1990年に(株)自然教育研究センターを設立以来、自然教育・環境教育に関して、『自然教育を実践する場と機会の拡充』、『自然教育に携わる人材の育成』、『自然環境ならびに自然教育の手法に関する調査研究』、そして直接的な『自然教育の実践による環境保全』という4つのアプローチを複合的に組み合わせることにより、様々な事業活動を展開しています。

自然環境の保全、あるいは失われた自然環境の復元のプロセスを例に挙げるまでもなく、自然環境に関するあらゆる事象には、多くの不確実性を伴います。

私たちは、こうした状況を受け止めるとともに、PDCAサイクルを実践しつつ、行政・民間企業、あるいは地域住民・市民団体など多くの立場の人々との合意形成・連携を図った上で、地域に根ざした生物多様性に取り組みます。

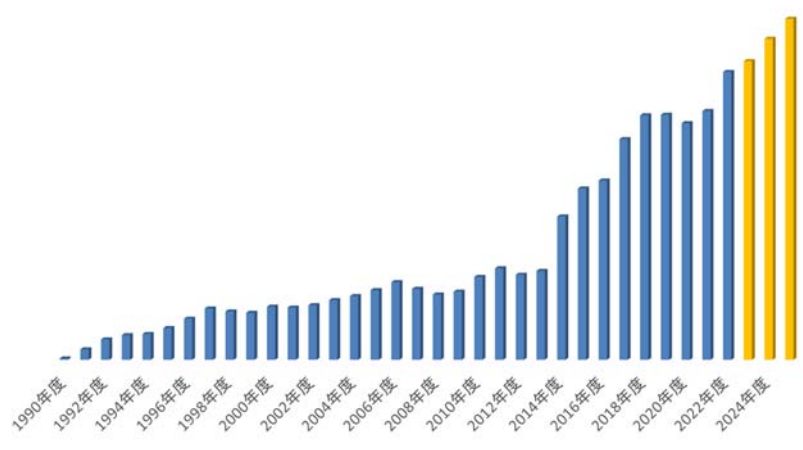


(株)自然教育研究センターの事業展開イメージ

会社概要

私たちが掲げるコンセプトは
 「自然とともに生きる地域と人づくりのコーディネーター」
 です

- 名称 株式会社 自然教育研究センター
Center for Environmental Studies (CES)
- 代表 代表取締役 税所 功一 (koichi saisho)
- 設立 1989年4月 1日 任意団体として発足
 1990年9月30日 株式会社に組織変更
- 資本金 1,000万円
- 本社 〒190-0022 東京都立川市錦町 2-1-22
 TEL 042-528-6595 FAX 042-528-6596
- 事業所 足立支店、練馬支店、八王子支店、青梅支店
 埼玉支店
- スタッフ 取締役: 3名
 常勤スタッフ: 112名 非常勤スタッフ: 70名
- 売上高推移 1990～2022年度実績、および2023～2025年度見込



認証取得・登録

■環境マネジメント

ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015(2007年11月認証取得)



■動物取扱業登録

第一種動物取扱業登録(東京都、展示) 13東京都展第004225号(2014年3月 取得)

■ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定 (2016年10月 取得)



■旅行業

東京都知事登録旅行業地域-8057号(2021年1月7日 登録)

■連携事業

環境省国立公園オフィシャルパートナーシップ(2022年9月 締結)



National Parks of Japan
Official Partner

業務概要

2023年度現在、1都1県5区2市1町1財団法人1民間企業の多様なクライアントから、自然公園・里山・都市公園・農業公園・干潟において自然教育・環境教育・生物飼育関連の18公園・施設の指定管理者、管理運営・解説・生物飼育等の各種業務等に取り組んでいます。

□クライアント

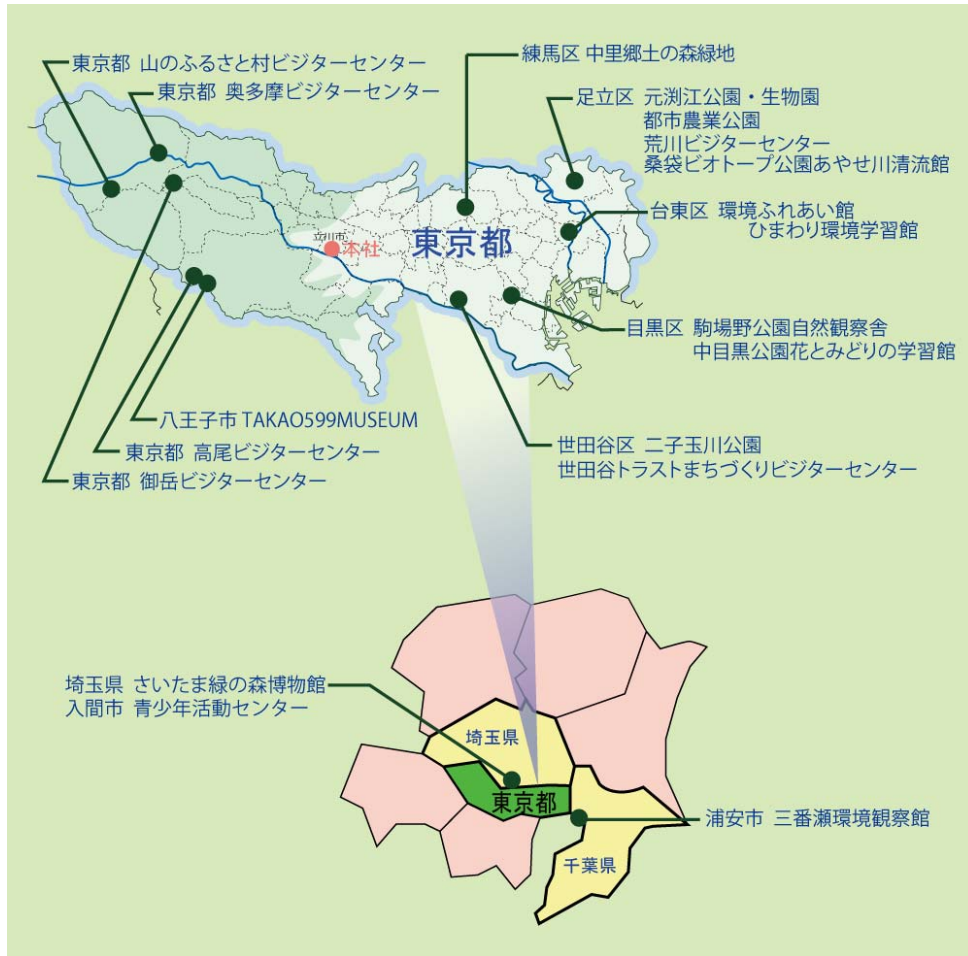
- ・東京都、埼玉県、
- ・足立区、目黒区、台東区、世田谷区、練馬区、入間市、浦安市、奥多摩町
- ・一般財団法人世田谷トラストまちづくり、株式会社京王エージェンシー

□フィールド・・・山域、丘陵地、河川、湖沼、干潟、森林、雑木林、草地、農地、緑地、都市、動物園・水族館・昆虫飼育施設、博物館・・・

□テーマ・・・自然教育・環境教育、自然環境、森林、里山、都市、河川、海洋、生態系、野生動物、生物多様性、外来種、ビオトープ、生命、農林業、有機農業、食育、園芸、園芸福祉、地域文化、ライフスタイル、地域経済、環境保全、市民協働

CES

Center for Environmental Studies



(株)自然教育研究センターが事業展開する公園・施設

■ 指定管理者(自然公園・里山) 4件

1. 東京都八王子市 高尾ビジターセンター



発注者: 東京都(指定管理者)

業務期間: 1998年度～2017年度 (業務委託 20年間)
2018年度～現在 (指定管理者 6年目)

業務: 解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、施設管理業務、園地管理業務など。

特徴: 解説員が常駐するビジターセンターとして草分けであり、プログラムや展示を通して、人と自然の関わりについて情報提供を行う。

～東京近郊に位置しながらも豊かな自然環境が残された高尾山～
年間250万人以上の登山者数が世界一とされる高尾山には、冷温帯と暖温帯の気候区分を特徴づける森林が分布し、整備された6つの自然研究路を歩くことにより、それぞれの植生・地形に適応した多様な動植物を観察することができる。

2. 東京都青梅市 御岳ビジターセンター



発注者：東京都(指定管理者)

業務期間：1992年度～2017年度（業務委託 26年間）
2018年度～現在（指定管理者 6年目）

業務：解説業務、展示制作業務、施設管理業務、園地管理業務など。

特徴：御岳ビジターセンターは御岳山上に位置し、地元観光協会と連携した様々なプログラムを展開することにより、地域振興の拠点として位置づけられる。

～四季折々の自然、江戸時代から続く歴史・文化が融合する御岳山～
御岳山では、山頂に建立された武蔵御嶽神社、江戸時代から続く御師集落と人々の暮らし、さらに苔むした岩々と清流が続くロックガーデン、美しい広葉樹林が広がる大塚山など、自然・歴史・文化をともに体感することができる。

3. 東京都奥多摩町 奥多摩ビジターセンター



発注者：東京都(指定管理者)

業務期間：2020年度～現在（4年目）

業務：解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、施設管理業務、園地管理業務など。

特徴：奥多摩の自然・文化・登山道の案内とともに、東京都奥多摩エリア自然公園ビジターセンターのヘッドクォーター的機能を目指す。

～都心から約2時間、秩父多摩甲斐国立公園の玄関口・奥多摩～
埼玉県・東京都・山梨県・長野県に広がる秩父多摩甲斐国立公園は、首都圏に最も近い国立公園として1950年に指定され、登山・ハイキング・キャンプ・沢登りなど、自然を楽しむ多くの利用者でにぎわう。



4. 埼玉県入間市・所沢市 さいたま緑の森博物館



発注者:埼玉県(指定管理者)

業務期間:2011年度～現在 (13年目)

業務:解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、農地・森林・環境管理業務、施設管理業務など。

特徴:里山環境を活かし、農業・林業をテーマにした体験重視型のプログラムを展開するとともに、環境管理を実践する。

～里山まるごとフィールドミュージアム さいたま緑の森博物館～
狭山丘陵の一角に位置し、雑木林や湿地を含む里山の景観そのものを野外展示と位置づけ、貴重な生き物を保全するとともに、身近な自然のすばらしさを実感できる場所となることを目指している。

■指定管理者(都市公園) 2件

5. 東京都足立区 足立区元湊江公園・生物園



発注者:足立区(指定管理者、共同事業者・代表団体)

業務期間:2003年度～2013年度 (業務委託 11年間)
:2014年度～現在 (指定管理者 10年目)

業務:受付業務、解説業務、展示制作業務、生物飼育業務、ボランティア・コーディネート業務、ミュージアムショップ運営業務、施設管理業務、公園管理業務など。

特徴:昆虫・魚類・両生爬虫類・鳥類・哺乳類など、様々な生き物の生体展示、生き物とのふれあいを通して、命の大切さを伝える。

～いのち・ふれあい・共生がテーマ 元湊江公園・生物園～
“いのち”の営みを続ける生きものたちとの“ふれあい”の場として、命の尊さを感じられる展示やプログラム、生きものとの心温まる交流を通じ、自然との“共生”について学べる。



6. 東京都足立区 足立区都市農業公園



発注者：足立区（指定管理者、共同事業体・代表団体）

業務期間：2017年度～現在（7年目）

業務：解説業務、展示制作業務、有機農業展開、温室管理業務、ボランティア・コーディネート業務、施設管理業務、公園管理業、レストハウス運営管理業務など。

特徴：有機農業の実践と安全安心な公園管理による食育を展開するとともに、生物多様性保全の重要性を伝える。

～自然に学ぶ、自然と遊ぶ、自然と共に生きる 都市農業公園～
有機農業による農業体験などを中心に、農のある暮らしの体験、四季折々の自然や花とのふれあい、安全安心な食育など、様々な質の高いプログラムを楽しむことのできる公園を目指す。

■業務委託（自然公園・里山・干潟） 4件

7. 東京都奥多摩町 山のふるさと村ビジターセンター



発注者：奥多摩町

業務期間：1991年度～現在（33年目）

業務内容：解説業務、展示制作業務、日常的施設管理業務など。

特徴：奥多摩湖畔に位置する山のふるさと村開園前から、自然環境調査等に関わり、CESの出発点とも言えるビジターセンター。

8. 東京都八王子市 TAKAO 599 MUSEUM




発注者：株式会社京王エージェンシー

業務期間：2016年度～現在（8年目）


業務：解説業務、ボランティア・コーディネート業務など。

特徴：高尾山の自然のみならず、八王子市周辺地域をフィールドにした自然環境など、地域に根ざしたテーマによって展開を図る。

9. 埼玉県入間市 入間市青少年活動センター


| | |
|---|---|
|  | 発注者: 入間市 |
| | 業務期間: 2018年度～現在 (6年目) |
| | 業務: 解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、地域団体支援業務、自然環境管理業務など。 |
| | 特徴: 加治丘陵の豊かな自然を活かした野外活動、地域団体と連携したプログラムを通して、自分らしさを発見する場の創出を図る。 |

10. 千葉県浦安市 三番瀬環境観察館


| | |
|---|--|
|  | 発注者: 浦安市 |
| | 業務期間: 2019年度～現在 (5年目) |
| | 業務: 解説業務、地域団体支援業務、学校団体対応業務など。 |
| | 特徴: CES初となる海辺の環境教育拠点施設であり、三番瀬の豊かな環境を活かして、地域に根ざした展開を図る。 |

■業務委託(都市公園) 8件

11. 東京都目黒区 駒場野公園自然観察舎

| | |
|---|--|
|  | 発注者: 目黒区 |
| | 業務期間: 1999年度～現在 (25年目) |
| | 業務: 解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、日常的施設管理業務、環境管理業務など。 |
| | 特徴: 雑木林を中心とした都市公園において、複数のボランティアグループと連携して、公園の管理運営を実践する。 |

12. 東京都目黒区 中目黒公園花とみどりの学習館

| | |
|---|---|
|  | 発注者: 目黒区 |
| | 業務期間: 2002年度～現在 (22年目) |
| | 業務: 解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、日常的施設管理業務、環境管理業務など。 |
| | 特徴: ハーブや園芸植物中心の都市公園において、園芸技術を活用し、ボランティアグループと連携した公園の管理運営を実践する。 |

13. 東京都足立区 足立区荒川ビジターセンター



発注者: 足立区
 業務期間: 2000年度～現在 (24年目)
 業務: 解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、
 日常的施設管理業務など。
 特徴: 荒川の自然環境、人文歴史などを通して、荒川と区民をつなぐた
 めの区民活動支援、およびネットワークを構築する。

14. 東京都足立区 足立区桑袋ビオトープ公園あやせ川清流館



発注者: 足立区
 業務期間: 2005年度～現在 (19年目)
 業務: 解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、
 日常的施設管理業務、環境管理業務など。
 特徴: 綾瀬川など水質浄化の普及啓発とともに、ビオトープ管理技術に
 より、区民協働型公園の管理運営を実践する。

～もともとあった足立の自然の姿を取り戻す桑袋ビオトープ公園～
 人の手によって生き物を持ち込むのではなく、区民と一緒に、生き物た
 ちが集まり暮らす環境づくりを行うとともに、豊かな自然や生き物を活用
 して綾瀬川や身近な生き物について楽しく学ぶ環境教育の場としての
 機能を目指す。

15. 東京都台東区 環境ふれあい館環境学習室



発注者: 台東区
 業務期間: 2006年度～現在 (18年目)
 業務: オン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)業務など。
 特徴: 解説業務、展示制作業務、プログラム開発など、スタッフやボラン
 ティアに対してOJT形式による研修を行う。



16. 東京都世田谷区 二子玉川公園



発注者：世田谷区

業務期間：2013年度～現在（11年目）

業務：ボランティア・コーディネート業務、解説業務、展示制作業務、施設管理業務、日常的公園管理業務など。

特徴：区民ボランティアの活動支援、企画コーディネートを行なうことで、地域住民の参加による公園の運営管理を実現する。

～住民参加型による運営管理 二子玉川公園～

国分寺崖線のみどりと多摩川の水辺に囲まれた眺めのよい公園で、眺望広場からは丹沢の山々や富士山を望むことができる。世田谷区立の公園として初の本格的な日本庭園も整備され、有形文化財に登録された旧清水邸書院が復元されている。

17. 東京都世田谷区 世田谷トラストまちづくり ビジターセンター



発注者：一般財団法人世田谷トラストまちづくり

業務期間：2010年度～現在（14年目）

業務：解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、日常的施設管理業務、市民緑地管理業務など。

特徴：ナショナルトラスト、まちづくりを目的に活動する財団が所管し、野川沿いに位置するビジターセンター機能等を強化する。

18. 東京都練馬区 中里郷土の森緑地



発注者：練馬区

業務期間：2017年度～現在（7年目）

業務：解説業務、展示制作業務、ボランティア・コーディネート業務、生物飼育業務、日常的施設管理業務など。

特徴：身近な生き物の飼育・生体展示と体験型プログラム等の教育普及により、生物多様性保全への取組みを実践する。

～みどりの豊かさを実感できる場 中里郷土の森緑地～

緑の保全と創出に関する意識の向上を図るために、身近な生き物の飼育・生体展示、緑とふれあう体験プログラムを展開するとともに、緑地や周辺地域を保全するボランティアの養成、コーディネートを実践し、区民協働を推進する。

自然教育・環境教育を実践する場と機会を拡充する取組

- ①ビジターセンター・ネイチャーセンター・生物飼育施設等の拠点施設および公園における指定管理業務・運営管理業務・インタープリテーション業務
- ②市民参加型管理運営を目指す施設、および公園における運営サポート・組織づくり
- ③教育系施設における昆虫等の生き物の飼育、植物の栽培およびミュージアムショップ運営
- ④地域のポテンシャルを活用した体験学習・自然教室・プログラム等の企画運営
- ⑤エコツアー・シンポジウム等の企画運営



港区都市公園における生き物を活用した体験プログラム



GO OUT JAMBOREE におけるキッズフィールド・体験型プログラム



さいたま緑の森博物館における里山子どもキャンプ



足立区生物園の大温室における放蝶プログラム

自然教育・環境教育に携わる人材育成の取組

- ①地域におけるインタープリター・ファシリテーター等の人材育成、および研修会の企画運営
- ②拠点施設におけるOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)業務、およびコーディネート業務
- ③ボランティア研修、およびボランティア団体の組織づくり・運営サポート
- ④施設の管理運営に関する評価、活性化への指導
- ⑤セミナー・ワークショップ等の企画運営・指導



各地における研修会・人材育成業務



所沢市におけるみどりのパートナー育成業務



世田谷区二子玉川公園におけるボランティア・コーディネート業務



足立区桑袋ビオトープ公園におけるボランティアによる水辺管理

自然環境ならびに自然教育の手法に関する調査研究の取組

- ①地域の自然環境・生態系・生物多様性、および動植物等の保全管理等に関する調査研究
- ②市民参加型調査の企画運営・コーディネート業務
- ③体験学習の手法に関する研究開発、およびマニュアル・テキスト・ティーチャーズガイドの制作
- ④自然教育・環境教育等施設・公園等におけるプランニング、およびハンズオン展示・解説パネル・映像ソフト・ネイチャートレイル・野外解説板の企画・設計・施工・監修
- ⑤地域の自然・文化資源を活かしたプログラムの開発、ガイドブック・マップの制作

■自然環境・保全管理等の調査研究



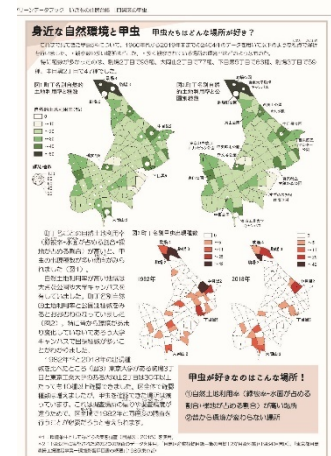
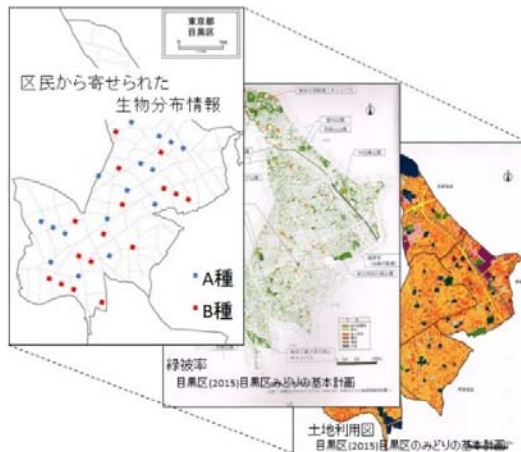
関東山地・東京都におけるニホンカモシカ生息状況調査



西多摩に生息するマダニの種類 (3属15種)

- | | |
|--|---|
| <p>キララマダニ属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タカサコキララマダニ <p>チマダニ属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キチマダニ ・フタトゲチマダニ ・ヤマトチマダニ ・ヤマアラシチマダニ ・オトゲチマダニ ・ヒゲナガチマダニ | <p>マダニ属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハシトマダニ ・ヒトツゲマダニ ・タネガタマダニ ・ヤマトマダニ ・シュルツェマダニ ・アカココマダニ ・カモシカマダニ ・タヌキマダニ |
|--|---|

東京都自然公園におけるマダニ・モニタリング調査



目黒区における区民参加による身近な生物調査・GIS 解析

■マニュアル・テキスト等の制作、オリジナル商品開発



浦安市三番瀬環境観察館における干潟生き物観察セルフガイド



東京都自然公園におけるマダニ・モニタリング調査に基づく注意喚起パンフレット



『Feel Nature in Tokyo!』東京の自然公園オリジナルグッズ



高尾山花めぐり手ぬぐい

■ 展示・解説板の制作



TAKAO 599 MUSEUM における企画展示ポスター・パネル



足立区都市農業公園における野外展示『農のある風景』



練馬区中里郷土の森緑地における身近な生き物展示



東京都庁展望室における『東京の自然公園』展

自然教育・環境教育実践による地域の環境保全推進の取組

- ①地域住民・行政・市民団体・民間企業などとの連携による自然環境の保全、自然環境の復元
- ②ビオトープ・エコアップの実践
- ③環境に関する企業のCSRに関する提案、および実践サポート
- ④農林水産物等の加工・販売による地域活性化の取組
- ⑤持続可能な社会実現のためのライフスタイル提案



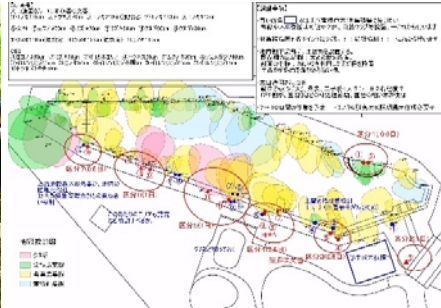
足立区生物園におけるツシマウラボシシジミ生息域外保全



埼玉県さいたま緑の森博物館における24時間テレビ・プロジェクト



足立区荒川河川敷における自然復元調査および施工管理業務



目黒区駒場野公園における生物多様性保全業務

私たちの技術や
アイデアが必要でしたら
ご連絡ください

人と自然の関係がよくなれば
もっとみんなうまいく・・・



CES

Center for Environmental Studies

株式会社 自然教育研究センター

〒190-0022 東京都立川市錦町 2-1-22

TEL : 042-528-6595

FAX : 042-528-6596

HP <https://www.ces-net.jp/>

E-mail ces-info@ces-net.jp



2023年4月